

#### 435) 猫のオマル

小生は昨今の環境問題に対しては結構気を使っている。だから何でも出来るだけ大事に使って、ゴミにならないようにしたり、ちょっとしたことは自分で修理をして、長く使うように心がけている。ところが若い人は家が狭いという問題もあるのだろうが、何でもすぐにゴミにしてしまう。これははなはだ残念である。だから小生は粗大塵の中から、明らかに使えるものは出来るだけ拾って来て、少し手を入れて使うように心がけている。先日の夜、粗大塵置場の前を通ると、何やらどこかで見たような商品が捨てられていた。近寄ってよく見るとやっぱりそうだった。猫のオマルが捨てられていたのである。猫が死んでしまったのか、それとも他の理由で不要になってしまっただけ捨てたのか。ともかくそれを拾って行くことにした。車載用のネコのオマルをちょうど買いたいと思っていたからである。

さて家に帰って明るいとこでよく見ると、このオマルは我が家のものよりも余程良くできているではないか。きっと 3,000 円もする代物なのだろう。次の土曜日、猫のオマル用の砂を買ってきて、早速車に積んで猫殿とドライブに出かけた。新しい砂には消臭剤が十分に入っており、人間様にとっても気持ち良い。

さて猫殿は私の膝の上にいたのでありますが、いつのまにか後ろのほうに行ったかと思うと、件のオマルの中に入って丸まっているではありませんか。新しいオマルに入った新しい砂の上でウンチをするには、余りにももったいなかったのでありましょう。畜生！、こいつまで俺みたいに貧乏性になってしまったじゃねーか。